

フレーム単位の精度で撮影素材をピタリ当てます ～メディア探索技術を用いた映像制作コラボレーションシステム～

どんな研究

映像制作の効率化・高付加価値化を目的に、**メディア探索技術とコンテンツ管理システムとを統合したコンテンツコラボレーションシステム**を実現しました。メディア探索技術に基づく編集映像の使用素材の解析により、編集工程やコンテンツ管理を効率化します。

どこが凄い

離れたロケから複数の手段でコンテンツにアクセスする際、編集情報は共有出来ません。本システムにより、使用された素材・部分を**1フレームのずれもなく**探索し、コンテンツ管理と統合することで、**離れたロケ間でも効率的に編集結果の表示・共有・修正が可能**となります。

目指す未来

編集工程の効率化のみならず、アーカイブの管理を含めた、映像制作前後の全工程での効率化を実現します。また、類似ショットのリスティングなどにより、コンテンツ自体の付加価値化・多様化も実現し、視聴者の満足度も向上させます。

映像制作のデジタル化

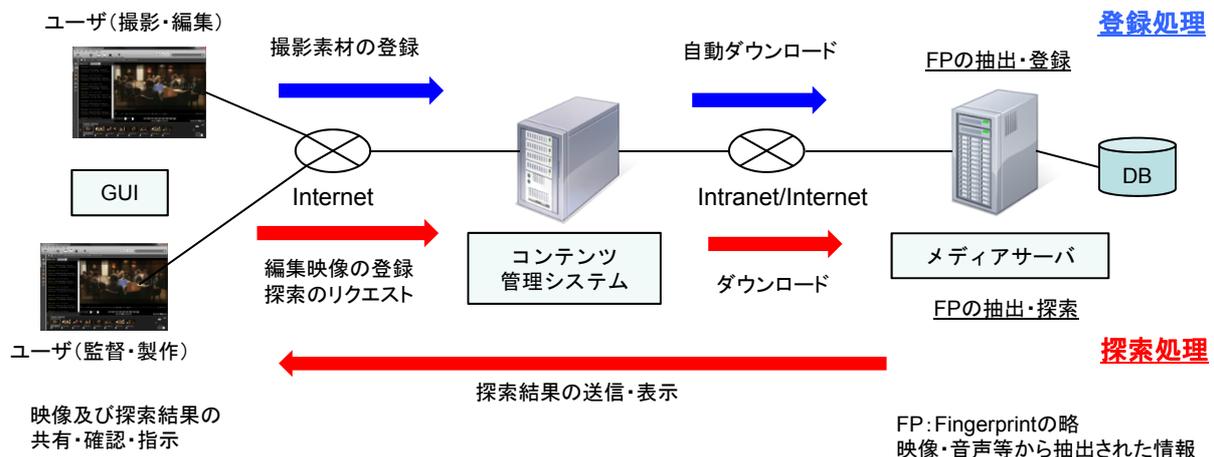
- 全コンテンツ・工程をオンラインで管理
 - 離れたロケーション間で共同作業
- ➡ 撮影素材及び編集映像をリモートから異なるアクセス環境で共有・確認・指示
- ➡ 編集映像に編集結果をメタデータとして自動付与する必要あり

使用素材のファイル名及び正確な使用箇所(ショット)の時間情報の探索

- 何度も撮影し直した極めて類似した撮影素材から、使用素材や使用箇所(ショット)を特定
- Fade等の特殊効果や画質調整、キャプションの挿入等があっても、1フレームの誤差もない同期した開始・終了時間を検出
- 登録作業は完全自動化

- コンテンツ管理システムとメディア探索を統合したコラボレーションシステム
- 映像制作の工程を効率化及び高付加価値化

システムの概要



関連文献

- [1] M. Mori, H. Kimiyama, M. Ogawara, "Search-based content analysis system on online collaborative platform for film production," in *Proc. International Conference on Pattern Recognition*, 2014 (to appear).
- [2] M. Mori, T. Kurozumi, H. Nagano, K. Kashino, "Video content detection with single frame level accuracy using dynamic thresholding technique," in *Proc. International Conference on Pattern Recognition*, 2014 (to appear).

連絡先

森 稔 (Minoru Mori) メディア情報研究部 メディア認識研究グループ
E-mail : mori.minoru[at]lab.ntt.co.jp ({}の部分に@に置き換えてください)